opusdei.org

## 教皇様からのメッ セージ

オプス・デイの創立者・聖ホ セマリアは、飽くことなえ続い 皇様への愛について教え続け てかました。私も、数名のを 人たちと、教皇様の教えを始 り深くしるための活動を始 ました。

2010/06/01

オプス・デイの創立者・聖ホセマリアは、飽くことなく教皇様への愛について教え続けていました。その著

書『道』の中でも次の言葉を記しています。573番「神よ、御身が私の心に教皇聖化への愛をうえつけてえくださったことを、心から感謝いたします。」そこで、私も、数名の友人たちと、教皇様の教えをより深くしるための活動を始めました。

ベネディクト16世が教皇になって から5年が経とうとしています。そ の間に教皇様はいろんなメッセージ を我々信者に伝えています。日本人 であれば国家元首である鳩山首相が どんなことを考えているのか、どん なことを言っているのか関心を持っ ていますし、会社員であればその会 社の経営者の考えや言っていること を知って、それに合わせて行動しよ うとします。カトリック信者であれ ば教会の頭、キリストの代理者であ る教皇様の言っていることに関心を 持つことが必要だと思います。

カトリック教会のカテキズムの88 2番に「ローマの司教、ペトロの後 継者である教皇は司教たちの一致と 信者の大きな群れの一致との、永久 の見える源泉であり基礎です。」と あります。これは教皇に一致の源が あるということなので教皇に一致す ればするほど信者間の一致も固くな るということだと思います。

教皇様は回勅や使徒的勧告という形で今の時代を生きる我々信者にメッセージを伝えて、励ましておられます。

1年前から数人で集まって教皇様の 回勅を読んでいます。1回約2時間 で月に2回のペースで読んでしま す。現在は20代1人、30代4人 の計5人です。読書会は祈りで始め、回勅を輪読しながら意見交りも とて考察を深めていくというやり して考察を深めていくというな ことをしてまた祈りで終わります。

なぜ数人で読むようになったかとい うと、1人で読んでいても理解が難 しく、継続していくことが困難だっ たからです。何人かで読むといろん なメリットがあります。まずゆっく りていねいに読むようになること、 自分だけの知識ではなく一緒に参加 する人の知識も参考になることで す。読んでいても自分は気づかない けど他の人が気づくこともたくさん ありますし、こういう解釈ができる のか、こういうことを言っているの かと教えられます。(教皇様の回勅 ですから内容についてどうこう言う ことはしません。教皇様はどういう ことを伝えようとしているのか、と いう観点で深めていくようにしてい ます。)

そしてせっかく買った本を途中で挫折することなく読み続けることができるという点も、みんなで読む大きなメリットだと思います。

1冊目はベネディクト16世最初の回勅「神は愛」を読みました。神は人間をどれほど愛されたのか、どのように愛されたのか、愛するとはどういうことか、現代に求められている愛の奉仕はどんなことか、等について深めることができました。

神の愛について、この本ほど理解を 深める著作には今まで出会ったこと はありませんでした。これは内容が すばらしいことと、みんなで読んだ からだと思います。

2冊目は「愛の秘蹟」(使徒的書簡)を読んでいます。「愛の秘蹟である聖体は・・・・・」から始まる文章にあるようにご聖体について深めることができました。

そろそろ「愛の秘蹟」は読み終わりますので3冊目は「希望による救い」を読む予定です。

現在は少人数なので、その都度スケジュールを調整して次回の日程を決めています。

「知らなければ愛することはできな い」という言葉がありますが、これ は人間に対してだけでなく、神様に 対しても当てはまることだと思いま す。そして神様に対しては「知れば 知るほどもっと愛することができ る」と言えると思います。教皇様の 回勅を読むことで神様のことをより 深く知ることができました。特に 「愛」の観点から神様のことをより 深く知ることができ、神様のことを より近く感じることができるように なりました。これからも教皇様の回 勅を読むことを通して、神様につい ての知識を深めていけたらと思いま す。

また信徒間の交流ということも言われていますが、「教皇様の回勅を読

む会」	もその機会になればと思って	
います	-	

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/jiao-huang-yang-karanometsusezi/(2025/12/16)